

〇〇〇 救援本部 活動のご報告 〇〇〇

2011/04/12 東北関東大震災障害者救援本部 東京事務局発行

(1) 被災地障害者支援センターの設立状況

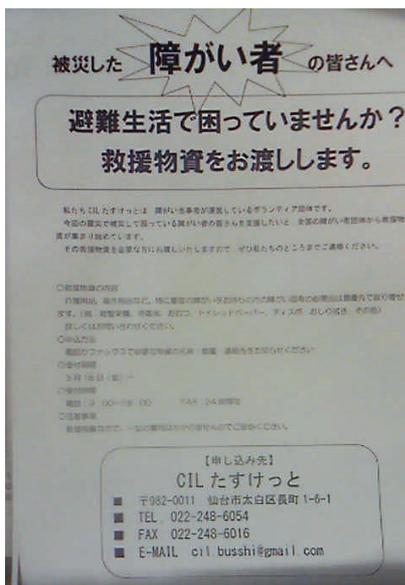
3月19日、宮城県仙台市にて「被災地障がい者センターみやぎ」、3月24日に福島県郡山市にて「被災地障がい者支援センターふくしま」が立ち上がりました。

その後、福島では日本障害フォーラム（JDF）東北関東大震災被災障害者総合支援本部との連携により、「JDF被災地障がい者支援センターふくしま」として様々な団体と協力しながら活動を広げています。また現在、岩手県盛岡市においてに3ヶ所目の被災地障害者センターの開所準備を進めています。



<みやぎ支援センターのメンバー>

(2) 現地センターの活動状況



各被災地障害者センターでは現在、物資の提供、障害者の安否と状況把握、ニーズの掘り起こしなどの活動を精力的に行っています。

【みやぎ】

CIL たすけっとが事務局となり、県内の障害者および障害者活動拠点の被災状況、救援活動などについて、情報提供を呼びかけ、物資・人員等の提供を中心に活動しています。行政や社会福祉協議会が把握しきれていない障害者の状況把握とニーズ調査が現在の大きな課題であり、また今後、急増するであろう介助派遣のニーズに対応するため、ヘルパー養成講座等の開催について本部と共に検討を進めていきます。

<宮城県内の避難所等で配布されているチラシ>

【ふくしま】

地震・津波・原発の事故、それによる風評被害と三重多重の災害を被っている福島県では、あいえの会が中心となり活動を行っています。これまで、JDFの動員により、県内の避難所や障害者施設・事業所における障害者の状況調査が進められてきました。しかし、被災地に取り残されている在宅の障害者の安否確認はほとんど進んでいません。現在、「総合相談窓口」の開設、障害当事者が避難所



<ふくしまセンター事務所>